

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	基礎デザイン				科目コード	D0410B1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	藤田 哲夫	履修グループ	1J(GD/MD/SD/SL)				授業方法	演習		
実務経験の内容	グラフィックデザイナー・ディレクターとして20年デザイン事務所/広告代理店勤務～10年来フリーデザイナー・WEBデザイナー・イラストレーターの実務経験を活かしデザインの基礎を講義します。									
学習一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの視覚的な表現の基礎的な方法・技法・原理に対する理解を深める。 ・構成と心理について理解し、視覚伝達における訴求を踏まえた構成・構図ができる。 ・デザイン制作手法について理解し、効果的なデザイン制作ができる。 									
授業の概要および学習上の助言	デザインにおける基礎的な視覚伝達表現の方法・知識の習得。視覚表現の理論を実際のデザイン制作にどのように活かすことができるかを説明する。実習では平面構成を主体とした制作を課題として出題する。アイデアラフの作成でイメージを固め、計画的なデザイン制作を心がけるよう課題に取り組んでほしい。									
教科書および参考書	「デザインを学ぶ」									
履修に必要な予備知識や技能	日常目に触れる、デザインに対し日ごろから興味を持って接すること。課題テーマに関わる資料等を、各自で日ごろから収集するなどデザインに対する関心を持つこと。									
使用機器	6-B教室、筆記用具、 配色カード、透明水彩絵の具、ポスターカラー、製図ペン、方眼三角定規 その他									
使用ソフト	なし									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	【デザインの基本】デザインすることの意味を理解し、どのような手法を選ぶべきかを判断することができる。								
	1	【構成エレメント】デザインを構成する要素(点・線・面・色・素材・空間など)を効果的に扱うことができる。								
	1	【構成と心理】心理的效果を理解し、視覚的なメッセージをデザインで伝えることができる。								
	1	【構成手法】デザインの構成手法を理解し、視覚表現に活かすことができる。								
	1	【表現手法】画材・素材の特性や扱い方を理解し、デザイン構成としてまとめることができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					70		30	100
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲								
	総合評価割合						70		30	100
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業毎に出題される課題を制作・提出。課題に対する理解度と、作成力から、評価を行う。授業時間内(提出期限内)に完成しなかった課題は、前期授業終了日までには作成、提出すること。
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、課題に対する取り組み、授業内容の理解度など総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	【デザインの基本】 テーマ: イメージから具体化へ(基本) ・絵の具その他道具の準備・ラフスケッチ(自己紹介)	講義・実習	参照 テキストP36 P128～131
第2回	【構成エレメント】 テーマ: 色の濃淡の意味(ポスターカラー) ・色面の構成カラーブロック(モノクローム)	講義・実習	参照 テキスト P60～65
第3回	【構成エレメント】 テーマ: 色の濃淡の意味(ポスターカラー) ・色面の構成 カラーブロック2(カラー)	講義・実習	参照 テキスト P60～65
第4回	【構成エレメント】 テーマ: 線と面(ポスターカラー) ・線と面のみによる平面構成	講義・実習	参照 テキスト P60～65
第5回	【構成手法】 テーマ: 遠近と透視図(ポスターカラー) ・パースペクティブ(立体表現)	講義・実習	参照 テキスト P66～71
第6回	【構成と心理】 テーマ: 視覚的メッセージ(ポスターカラー) ・心理効果をふまえた構成(透明感)	講義・実習	参照 テキスト P72～75
第7回	【構成手法】 テーマ: デザイン効果を狙った構成(ポスターカラー) ・平面構成(静・動)	講義・実習	参照 テキスト P46～49
第8回	【構成手法】 テーマ: デザイン効果を狙った構成(ポスターカラー) ・平面構成(暖・寒)	講義・実習	参照 テキスト P50～53
第9回	【構成手法】 テーマ: 陰影と立体表現(ポスターカラー)	講義・実習	参照 テキスト P80～81
第10回	【表現技法】 テーマ: 合成(はさみ+のり+雑誌+ポスターカラー) ・コラージュ作品制作	講義・実習	テキスト P54～57
第11回	【表現技法】 テーマ: 質感・透明感・画材の扱い方①(透明水彩) ・用紙、絵の具の特性を知る	講義・実習	参照 テキスト P76～79

第12回	【表現技法】 テーマ:質感・透明感・画材の扱い方①(透明水彩) ・パターンレイアウト(構成・構造)	講義・実習	参照 テキスト P76～79
第13回	【表現技法】 テーマ:タイポグラフィー(透明水彩) ・文字を含んだ構成	講義・実習	参照 テキスト P82～87
第14回	【表現技法】 テーマ:イメージ(透明水彩)① ・空想の〇〇(都市・生物etc.)	講義・実習	テキスト P124～127
第15回	【表現技法】 テーマ:イメージ(透明水彩)② ・空想の〇〇(都市・生物etc.)	講義・実習	参照 テキスト P124～127